夏に羽ばたけ 富士見高生

2024夏の全国大会出場部活動紹介

この夏、富士見高校から全国総体に進出する陸上競技部、女子バドミントン部、女子ソフトテニス部、全国総文に出場する将棋部女子、コミュニティ研究会（新聞部門）の合計6つの部活動を紹介します。どの部活動も健闘が期待されています。

陸上 男子100Mと4×100Rで全国ベスト8以上を

6月14～16日まで岐阜メモリアルセンター長良川競技場で実施された陸上の東海総体男子100Mで土屋太陽選手（3年）が10秒59で優勝し、2連覇を果たしました。また、男子4×100Mリレーでは西島陽友選手（2年）、佐野菜夢選手（1年）、畝中勇輔選手（2年）、土屋太陽選手が41秒07で3位となり、7月28日より福岡市で開催される全国総体への出場が決定。

東海総体陸上会場にて

土屋太陽選手は「今年もゲン担ぎで焼き魚を食べました。100M自己ベスト10秒47は全国上位のはずなので絶対に決勝に残ります。リレーは東海決勝進出時の最下位から3位まで上がったので全国でも頑張ります」と語りました。

女バレ 全国ベスト8以上を

県6連覇した女子バレー部

5月26日、県6連覇を決めた女子バレー部でしたが、今回は課題も残りました。三島南高校との決勝戦では第1セットを簡単に取り、第2セットも5点リードから逆転されて失い、第3セットも相手校にマッチポイントを取られてから粘って競り勝つ状況でした。28得点を挙げたエース福元さやか選手（2年）の踏ん張りが目を引きました。主将の千葉光姫選手（3年）は「去年のインハイではベスト8を達成できたので今年はそれを上回る結果にしたいです。課題を修正していこうという緊張感の中で調整できています」と語りました。全国総体は7月25日から大分県中津市で開催されます。

部活動説 ネットニュースに惑わされるな

富士見祭や全国出場特集号の明るい記事に水を差すが、新聞を作る部活動として勇気を出して書く。富士見祭体育の部がなぜ2週間も延期されたのか、その真相も兼ねて。

6月3日が雨天のため5日に延期された体育の部。しかし体操服に着替えた私たちは教室で待機することになる。嘔吐や下痢による欠席者が約50名出て、その対応の緊急職員会議があったからだ。結局その日の体育の部は中止となり、どの教室にもため息が漏れた。

後日、保健所の検査結果でノロウィルスGⅡが検出されたが感染経路は特定できず、食中毒とも断定できなかった。

体育の部が2週間遅れたのは、実はウィルスの影響にも配慮し、全生徒の体調万全を期して学校が判断したとのことで、感謝しかない。

その後、ノロウィルス集団感染の新聞記事は地元紙、地方紙、全国紙の県内版でも事実が報道されたが、6月14日の夕方と15日朝に全国規模のネットニュースに「約百人が食中毒、文化祭の食品原因か」と明らかに事実に反した報道がなされた。読者の気を引く低俗なやり方は看過できない。当事者である私たちの心をスタズタに引き裂いた。新聞を作る部員として絶対に許せない。

私たちは手軽にネット記事に目を向ける。それが便利な一方、騙される危険性もある。富士見生は今回それを身をもって知った。惑わされるな。

将棋 再び表彰台へ

県2連覇の将棋部女子

県高校将棋選手権が5月18、19日に静岡高校で行われ、女子団体戦において、富士見Aチームが優勝し、連覇を果たしました。8月1日、2日に岐阜県高山市で行われる全国総文に出場が決まりました。メンバーは天野詩音選手（3年）、石井結衣選手（2年）、馬場理央奈選手（1年）の3名。昨年の全国総文で団体3位のメンバーだった天野詩音選手は「大将の馬場選手は『中飛車』で攻め、守りは『穴熊囲い』で鉄壁。副将の石井選手は『三間飛車』で左から攻める戦法。私は三将で、相手の戦法に合わせて変えますが、『四間飛車』『中飛車』『向かい飛車』でも攻めます。岐阜では再び表彰台に立てれば嬉しいですが、まずは楽しく将棋を指したいです」と意気込みを語りました。石井選手は「自分より強い人が多いので頑張る」、馬場さんは「先輩の足を引っ張らないよう頑張りま す」と話しました。

女テニ 「予選突破したい」

5月26日、県総体の個人戦が行われ、3年生の気迫溢れるプレーが輝き、塩川結菜選手・阿部穂花選手ペアが3位、小林麻央選手・酒井愛弥選手ペアが4位に入賞し、7月25日からに長崎市で行われる全国総体に出場が決まりました。部長の塩川結菜選手は「ずっと目指していた場所に行けてとても嬉しい。県大会で優勝を逃したのは悔しいですが、全国では予選を突破して本戦2日目まで残れるよう頑張ります」と語りました。

全国出場の4選手

男バド 「楽しんで頑張る」

静岡県富士見高等学校バドミントン部
県総体を戦い終えて

5月25、26日に県総体シングルスとダブルスが行われました。山本脩太選手・鶴岡成々斗選手ペア（3年）が2位となり、山本選手はシングルスも2位で、7月30日から佐賀市で行われる全国総体への出場が決定しました。山本選手は「最後のインターハイなので楽しみながら頑張りたい。高い意識の中で調整しています」と話しました。

コミ研新聞 奨励賞が確定

今村さん（左）と大竹さん

コミュニティ研究会は第28回全国高校新聞年間紙面審査で奨励校となったため、静岡県からの推薦校となり、8月1日から岐阜県中津川市で開催される全国総文新聞部門への出場が決定。3年生の今村穂乃花さんと大竹颯彩さんは「初出場で奨励賞は嬉しい。学びの3日間にしたいです」と口を揃えました。